

## 第6章 ごみ有料化後の状況

- 1 ごみ処理等の現状
- 2 指定収集袋の製造及び販売実績

## 第6章 ごみ有料化後の状況

### 1. ごみ処理等の現状

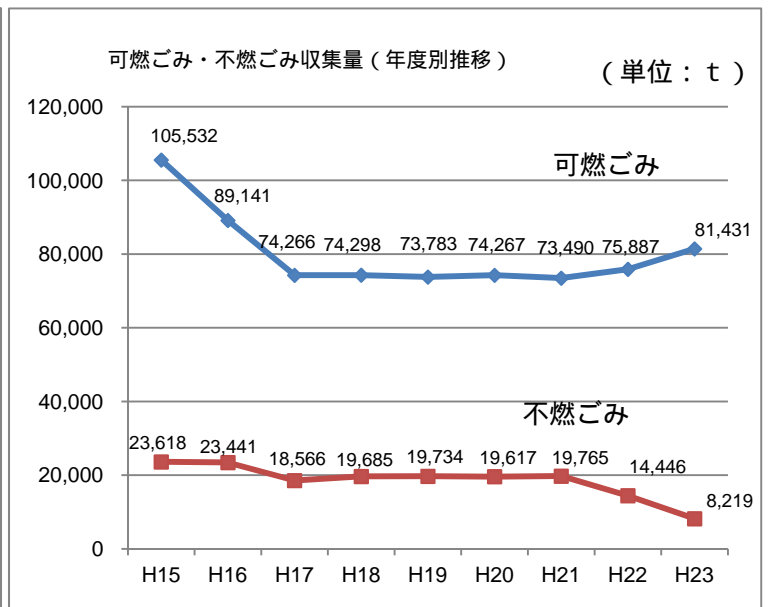
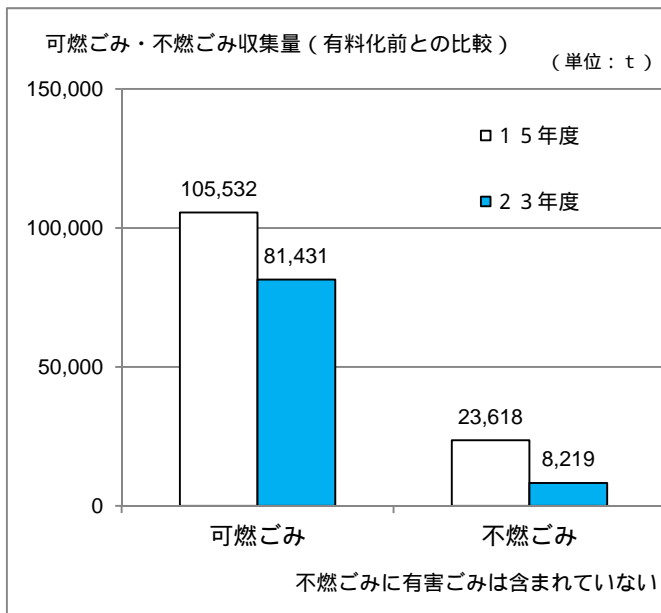
#### (1) 家庭系ごみ

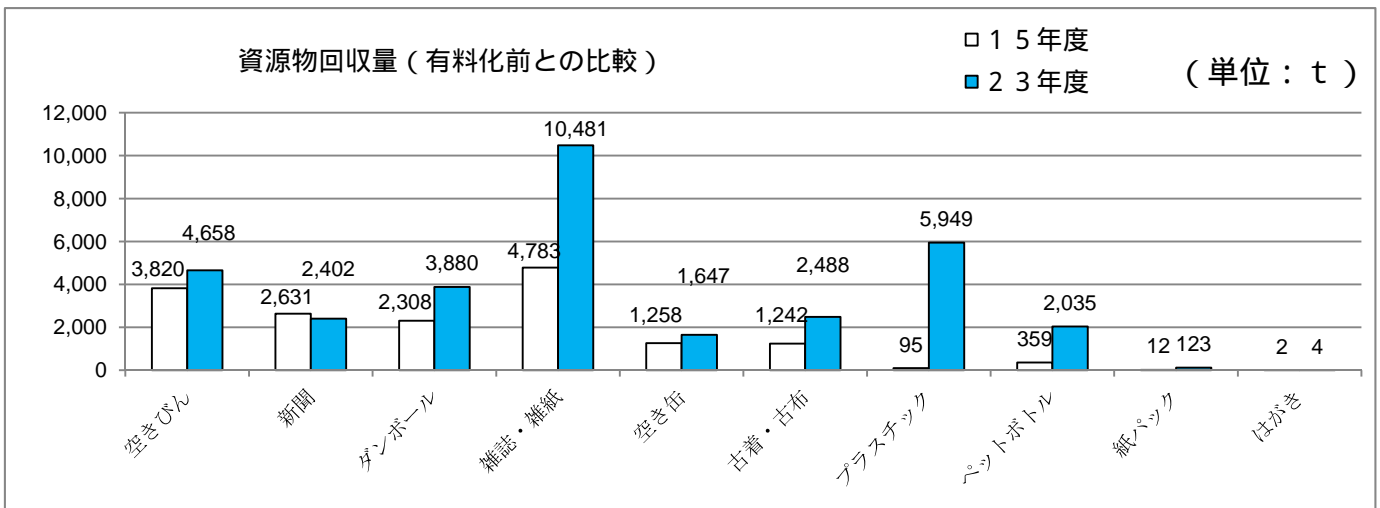
本市は、平成16年10月から人口30万人以上の都市としては全国で初めてごみ有料化を実施した。これを契機として市民の意識が高まり、ごみ減量への取り組みが行われたことにより、16年度から3年連続リサイクル率第1位、2年連続リデュース第1位(18年度は第2位)(人口50万人以上の都市)という成果を得ることができた。22年度のリサイクル率は4位、リデュースは3位となっている(環境省発表)。

<人口50万人以上都市のリデュース(1人1日当たりのごみ排出量)・リサイクル率全国順位の推移>  
【環境省発表】

年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
リデュース	1位	1位	2位	3位	3位	2位	3位
リサイクル	1位	1位	1位	2位	4位	6位	4位

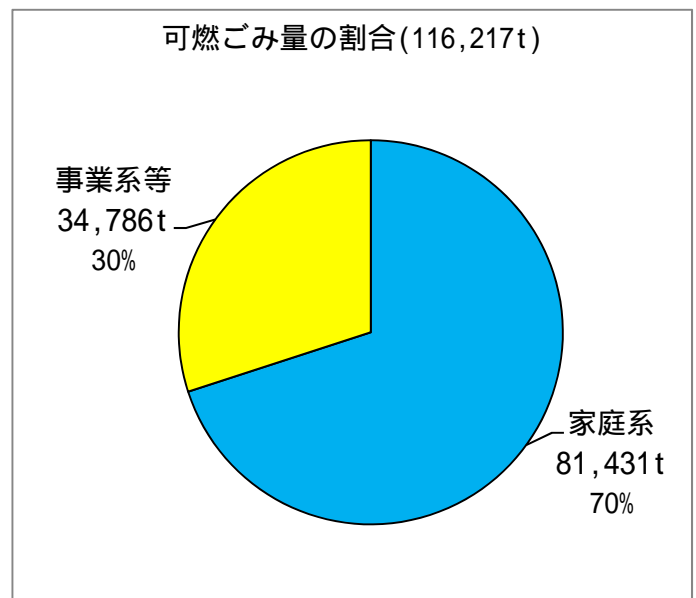
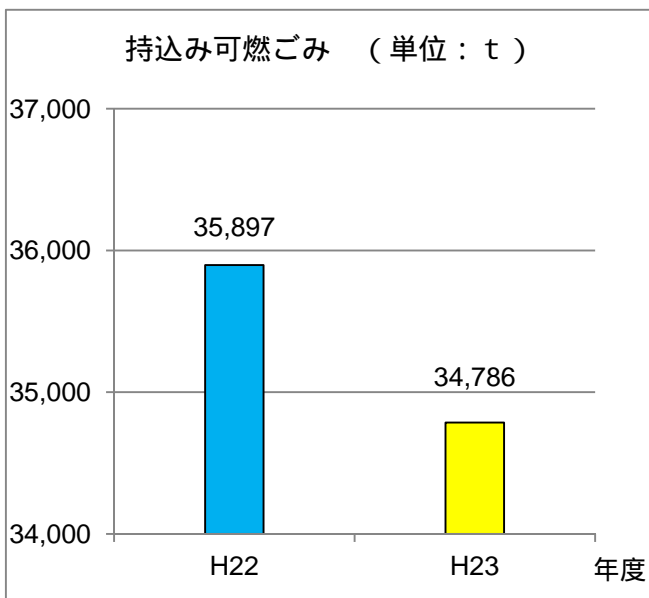
23年度は、ごみ有料化導入前の平成15年度と比較すると、可燃ごみは24,101トン、不燃ごみは15,399トン、全体で39,500トン、30.6%の減量となり、また、資源物の回収量は17,157トン、103.9%増加している。





（2）事業系ごみ等持込みごみ量

事業系ごみについては、事業者責任で処理することが原則であるが、有料化・戸別収集の実施にあたり、少量排出事業者については市による収集とした。しかし、清掃工場で焼却される可燃ごみの30%が事業系のごみとなっており、持ち込まれるごみの中には、紙ごみのような資源化可能なものも含まれていることから、事業系古紙の回収モデル補助事業を行い、22年度10月より少量排出事業者から排出される古紙についても市による収集を開始した。今後も、資源化推進のためさらに具体的・積極的な対策を立てていく必要がある。



2. 指定収集袋の製造及び販売実績

ア 家庭用指定収集袋

袋の種類		販売価格	製造枚数	販売枚数
可燃	ミニ(5㍓)	90円/10枚	3,250,500	3,165,123
	小(10㍓)	180円/10枚	8,109,600	7,192,531
	中(20㍓)	370円/10枚	7,634,100	8,803,766
	大(40㍓)	750円/10枚	2,493,000	3,197,439
	大ばら(40㍓)	75円/1枚	0	204,050
不燃	ミニ(5㍓)	90円/10枚	0	502,533
	小(10㍓)	180円/10枚	0	789,206
	中(20㍓)	370円/10枚	0	1,156,195
	大(40㍓)	750円/10枚	0	782,228
	大ばら(40㍓)	75円/1枚	0	87,133
計			21,487,200	25,880,204

イ 指定収集袋以外の袋の種類

袋の種類	製造枚数	配布枚数
ボランティア袋(中)	122,500	41,000
ボランティア袋(大)	199,000	223,000
おむつ袋(小)	619,500	577,500
おむつ袋(中)	1,569,500	1,492,500

ウ 指定収集袋収入の充当先

(単位：円)

手数料収入	865,512,477
-------	-------------

充当事業	充当額
戸別収集	63,222,313
資源物拡充策	410,003,988
指定収集袋製造等	189,544,011
不法投棄対策	4,655,862
啓発・その他	198,086,303
計	865,512,477

(2) 事業系指定収集袋

ア 事業系指定収集袋販売実績

袋の種類		販売価格	製造枚数	販売枚数
可燃	小(10ℓ)	650円/10枚	80,000	31,220
	中(20ℓ)	1300円/10枚	120,000	178,750
不燃	中(20ℓ)	1300円/10枚	100,000	95,457
計			300,000	305,427

イ 指定収集袋収入の充当先

(単位：円)

手 数 料 収 入	37,676,210
-----------	------------

手 数 料 充 当 経 費	充 当 額
可 燃 ご み 収 集 運 搬	25,266,800
不 燃 ご み 収 集 運 搬	12,409,410